

共

同

決

議

(案)

大東亜戦争は聖戦である。侵略戦争ではない。欧米列強の魔手から、祖国日本の独立を守る為、同胞アジアを解放する為、起ち上がった戦争が大東亜戦争なのだ。勇戦奮武も空しく、矢尽き刀折れ、敵に降する無念の結果となつたが、日本人が未来永劫に誇るべき戦争である。

一億憲哭の昭和二十年八月十五日から、本年は七十年を迎えた。降伏から占領と、昭和二十七年四月二十八日のサンフランシスコ講和条約の発効まで、我が国と連合国との戦争は続いた。武力戦争から思想戦争へと移つただけで、戦争は継続していた。戦後日本は八月十五日を「終戦記念日」、四月二十八日を「主権回復記念日」と偽つてきただが、八月十五日は「降伏無念日」、四月二十八日は「敗戦無念日」なのである。

我が国は武力戦争に敗北して領土や軍備を失い、思想戦争に完敗して憲法や歴史を奪われてしまった。占領後遺症の我が国は、大東亜戦争の大義を忘れ去り、大東亜戦争を侵略戦争として断罪している。奴隸的平和と物質的繁栄のみに価値觀を置く我が国の惨状は正視できるものではない。しかし、武を捨て、文を忘れ、金のみを貪る醜い姿と墮落してしまつたが、日本は我々にとって愛する祖国である。どのような姿であつても、大切な祖国を守る為、我々は戦う。

「中国共产党」という赤い悪魔が支配する「中華人民共和国」すなわち中共は、敵国である。昭和四十七年九月二十九日、我が国は中共との国交を樹立した。金権腐敗の売国媚中内閣による暴挙であった。国交樹立より四十三年の間、主権侵害、内政干渉、領土・領海・領空の侵犯など、中共による敵対行為は数限りなく繰り返されてきた。中共は「反日」「共産」「中華」の三悪國家であり、中共との友好は妄想である。

中共の脅威は、我が国だけのものではない。満洲、南モンゴル、東トルキスタン（ウイグル）、チベットに対する侵略・虐殺・苛政。また、台湾に対する併呑の野望。さらに、中共に統治されている全ての人々たちの苦難。中共は、アジア全民族の敵、いや、人類の敵である。

我々は草莽とはいえ、興亜憂國の志士と自負している。祖国と友邦の危機を坐視する事は断じてできない。中共という侵略者は戦うべき敵であり、中共に媚び阿る売国奴は討つべき賊である。我々は敵と戦い、賊を討つ事を誓う。9・29反中共デーの旗の下、北海道・東京・中部・関西・九州の各大会に参加した全ての同志が連帯して、内閣総理大臣に対して、次の事項を要求する。

- 一、極めて悪質な不敬記事を配信した新華社に關係する輩を全て国外へ追放せよ！
- 一、中華人民共和国との国交を断絶せよ！
- 一、祖国防衛の為、憲法を正し、皇軍を再建せよ！
- 一、前三項の実現まで、我が国の主権と安全を守る為、次の十六点を速やかに実行せよ！

 - ①靖国神社に正々堂々と正式かつ公式に参拝する事
 - ②国立戦歿者追悼施設の建設計画の中止を国内外に宣言する事
 - ③歴代の総理大臣および官房長官らによる反日自虐談話の撤回を閣議決定する事
 - ④教科書検定における「近隣諸国条項」を撤廃する事
 - ⑤尖閣諸島および冲ノ鳥島の防衛に全力を尽くし、東シナ海における海底資源の盗掘を阻止する事
 - ⑥中共との防衛交流をはじめ經濟援助および技術協力などを全て即時中止する事
 - ⑦所謂チャイナ・スクールをはじめとする売国的外交官を追放する事
 - ⑧中共の国民の入国を制限するとともに、労働力を「輸入」しない事
 - ⑨南京をはじめ中共各地に建設されている抗日記念館の歴史歪曲を是正させる事
 - ⑩中共による侵略、弾圧、虐殺、脅威に苦しむアジア諸民族との連帯を表明する事
 - ⑪危険な中共製品の輸入を禁止する事
 - ⑫チャイナタウン構想の如き「租界」建設計画の阻止を地元自治体に指導する事
 - ⑬中共へ進出している日本企業に対して、中共からの撤退を指導する事
 - ⑭外国人に地方参政権を付与する法案の検討および推進を白紙撤回する事
 - ⑮中共の司法当局の不当なる裁判に厳重に抗議し、被告企業などに適切な処置を行う事
 - ⑯国内の司法当局に対して、中共に関する裁判について適正な判断を行うよう求める事

- 我々は、正義武断の名において、勝利の日まで闘う事を宣言し、ここに決議する。

平成二十七年九月二十九日

平成二十七年9・29反中共デー北海道大会
平成二十七年9・29反中共デー東京大会
平成二十七年9・29反中共デー中部大会
平成二十七年9・29反中共デー関西大会
平成二十七年9・29反中共デー九州大会